

# 又ル又ルからの 生物多様性

みなさんは川で遊んだことがあるでしょうか。最近「川は危ない」と言われ、川で遊んだことがないといった子ども達が多いのではないかと思います。しかし自然と触れ合うのは良いことです。自然があまり身近では無くなってしまった近年こそ、自然との触れ合いを見直すべきではないでしょうか。そこで、私達は川のあり方について提案したいと思います。

まず 富良野高生にアンケートをとってみました。

## Q 自然が豊かに残された川とは？

- きれいで すき透るような川
- 魚や虫の多く住む川 など

## Q 豊かな自然とは？

- 空気が澄んでいる。色々な生物がいる
- 草木が多い など



結果 自然 = 川というイメージはあまりない!!

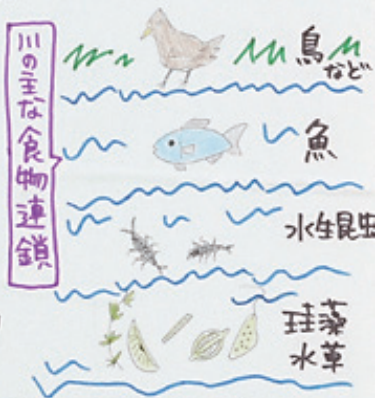
川こそ自然がいっぱい詰まっている!

自然を知らない子ども達やこれから子ども達に向けて自然を利用した公園や施設を作ることが必要。そしてその中で自然についてや今置かれている環境について触れたり知ることによって世界観が広がってくるでしょう。

まず、私達が伝えたい自然とは自然界の『食物連鎖』についてです。

自然界の生き物は全て食べる関係でつながっています。

川で多くの方が連想する生き物といえば、魚や虫が多いと思いますが実は目に見えない、目立たない小さな生き物もたくさんいます。



その小さな生き物は食物連鎖の底辺で他の生き物に食べられます。しかし、その底辺こそが自然界に欠かせない存在なのです。(生産者)

彼らがいなければ魚や虫の食べる物が無くなり食物連鎖を支えられなくなってしまい自然のバランスが崩れてしまいます。

そこで、私達はその底辺にいる生き物をみなさんに伝えることで自然の大切さを根本から見直そうと思います。

みなさんは川に入ったときや水場などで  
ぬるぬるしたものを触ったことはありませんか？

その正体は「珪藻」という、植物プランクトンの  
仲間なのです。この珪藻こそ食物連鎖の底辺に  
あり自然に欠かせない存在なのです！

私達富良野高校科学部では、珪藻の研究をしたり  
コウモリの生態調査をしています。  
珪藻は植物プランクトンなので生産者としてだけでなく  
光合成をして酸素を作っています。

### 珪藻土広場

中央には自然にも  
人間のからだにも  
優しい珪藻土の広場。  
珪藻土は死んだ珪藻の  
カラが長い間にたくさん  
積もったもので、家の壁  
にぬって利用すると、  
湿度を安定させたり  
アレルゲンを捕まえるなどの  
働きをします。  
この珪藻土の広場では  
パネルなどを用いて  
珪藻や自然についての  
説明が見えます。

### 川や池で食物連鎖を再現！

川や池では魚や水生昆虫などが生息して食物連鎖を  
再現！自然を身近に見て感じよう。

地球上の酸素の25%は珪藻から作られています。  
肉眼では見ることが出来ない為、なかなか身近に  
感じることは少ないと思いますがそんな珪藻  
をみなさんにもっと知ってもらい、自然にも触れる  
ことが出来る公園を作ること考えました。  
なお、この公園では夜に活動し、あまり生態を  
知られていないコウモリについても知ることが  
出来ます。この公園で自然を知ろう！

### ヌルヌル小道

川から池までの水路に入って  
すぐに珪藻を感じてみよう！  
ヌルヌルするのは全て珪藻！

コウモリの  
生息する森

### 夜はコウモリが見える！

普段なかなか見られないコウモリ。  
コウモリは夜に飛ぶながら虫を食べます。  
この公園ではバットハウスを作ってコウモリに  
住んでもらい夜になると飛んでいるいきいきと  
したコウモリを見ることが出来ます。

バット  
ハウス

